

概ね10年後の沖縄の社会資本整備

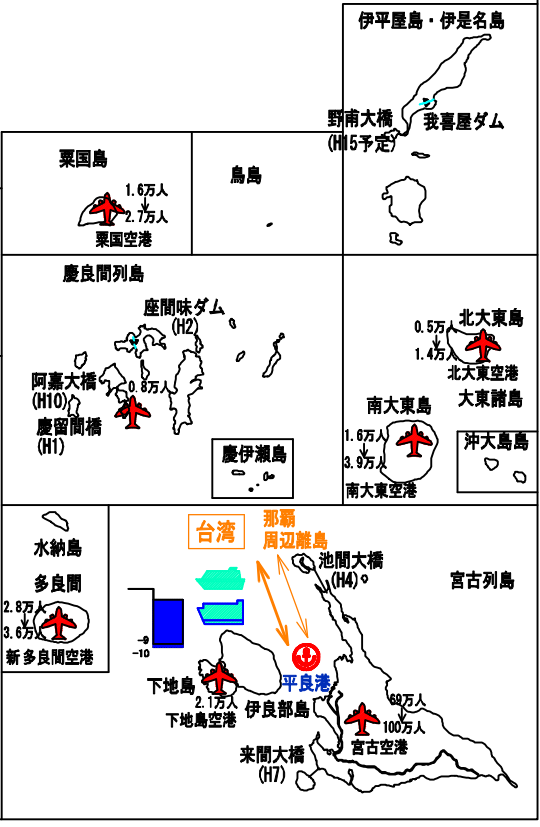
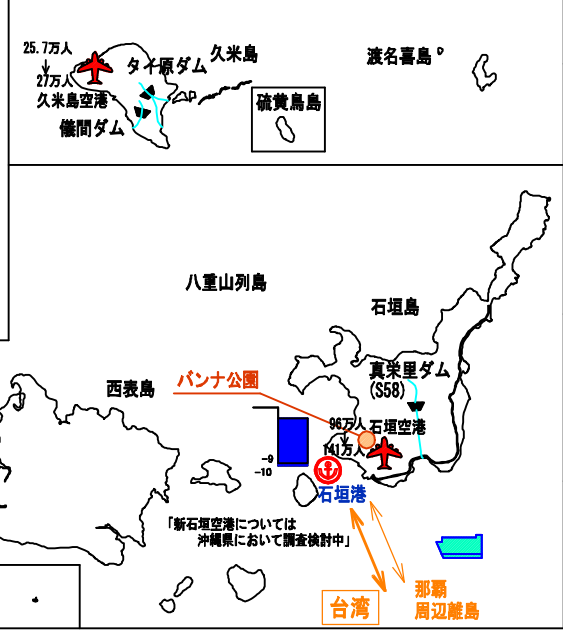
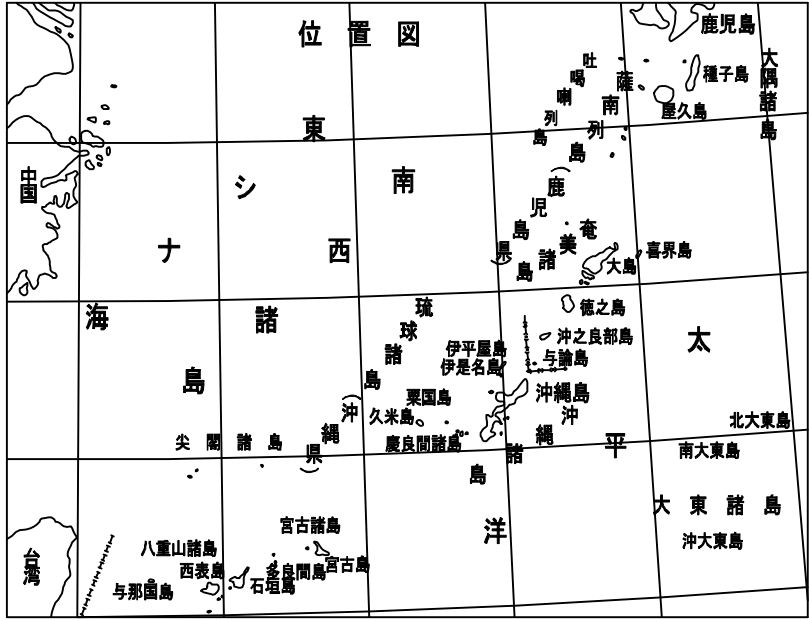
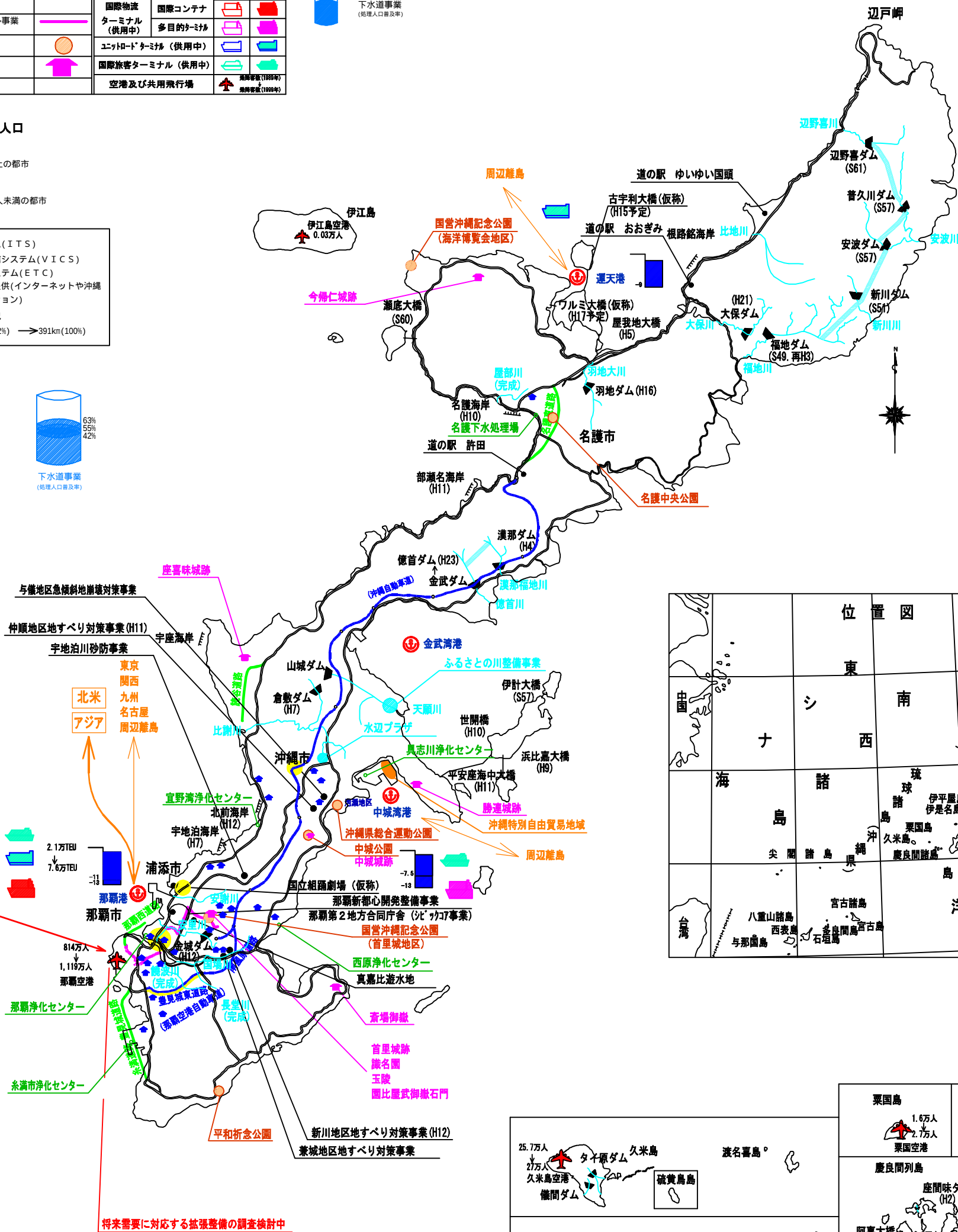
凡 例					
高規格幹線道路	供用区間	~H12供用 H13~供用	導 水	完成	
一般国道自動車専用道路	供用区間	~H12供用 H13~供用	ダム	完成	
地域高規格道路	供用中		海岸事業	完成	
沖縄都市モノレール事業			重要湾港		(コンテナ取扱量) 現在供用中 計画中(完成予定) 現在供用中 計画中(完成予定)
公園事業			国際物流ターミナル(供用中)	国際コンテナ多目的ターミナル(供用中)	ユニクロターミナル(供用中)
世界遺産登録			国際旅客ターミナル(供用中)		空港及び共用飛行場

- ↑ 公営住宅整備事業(200戸以上)
- ↔ 国際定期航空路線(1991年現在) → (2001年現在)
- ↔ 外貿コンテナ定期船航路(2001年現在)
- ↔ 国内航路(2001年現在)
- 10 公共岸壁最大水深(m)
- 下水道事業(処理人口普及率)

主要都市人口

- 30万人以上の都市
- 10~30万人未満の都市

- 高度道路交通システム(ITS)
- 道路交通情報通信システム(VICS)
 - 自動料金収受システム(ETC)
 - 道路関連情報の提供(インターネットや沖縄インフォステーション)
- 光ファイバー整備状況
- 整備済 320km(82%) → 391km(100%)



将来需要に対応する拡張整備の調査検討中

